— AUS（アルテミス・ユーザ・サポート）便り 2015/04/27号 —

ここで紹介するニュースは、ほとんどの場合、日頃からOS・アプリケーション・アンチウイルスのデータベース等を常に最新の状態に保つこと、併せて、UTM導入等によるネットワーク全体の防御を行うことで対策できます。

●「訃報」メールでマルウェア感染、日本企業を狙う新手の攻撃を確認

http://www.itmedia.co.jp/enterprise/articles/1504/20/news118.html
https://www.paloaltonetworks.jp/company/press/2015/2015-0420-DragonOK.html

このニュースをザックリ言うと・・・

- 4月14日（日本時間）、ファイアウォール製品等を手がける米パロアルトネットワークス社は、日本企業を標的とした標的型攻撃を確認したとして警告を出しました。

- 問題となっている攻撃は、「DragonOK」と呼ばれる攻撃者グループが1月～3月に行ったとされ、訃報を告知するWordファイルや、各セルが「xxxxxx」で埋め尽くされたExcelファイルに偽装したマルウェアがPCに感染し、キーボード入力・画面キャプチャおよびPC上のファイルを盗み出すような活動を行うとされています。

- 同社では、マルウェアに使われているツールの一つに、日本企業への攻撃に特化した新しいツールが含まれていることに注目し、攻撃者グループが今後も日本企業に対し同様の攻撃を行う可能性があると警告しています。

AUS便りからの所感等

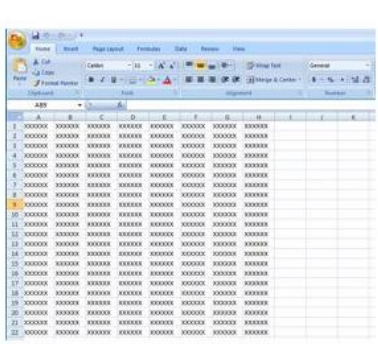
- 英語の文面、あるいは稚拙な翻訳の文面が用いられたのも今は昔で、今日では文面から不審なマルウェアかどうか、人間が判断するのは非常に難しくなりつつあります。

- 一見違和感のない文面で突然メールが送られても決して安心せず、周辺の状況から慎重に取り扱うことは大事ですが、人間の判断力に全てを委ねるのではなく、アンチウイルス・UTMとの組合わせによる多重の防御を行うべきでしょう。


記事一覧 | IT導入事例 | システム構築 | 運用管理 | セキュリティ | 中堅・中小IT | ブログ | 用語事典 | ホワイトペーパー
注目のテーマ | Office 365 NEW | CSIRT構築術 NEW | 情シス交流 NEW | ワークスタイル変革 | クラウド
ITmedia エンタープライズ ＞「訃報」メールでマルウェア感染、日本企業を狙う新 ...
2015年04月20日 16時55分 更新
「訃報」メールでマルウェア感染、日本企業を狙う新手の攻撃を確認
中国の攻撃者集団とみられる「DragonOK」が、製造やハイテク分野の企業を標的に新種のマルウェアを使った攻撃を仕掛けていたという。
[ITmedia]
印刷／PDF | ツイート 172 | いいね！ 189 | チェック | 10 | Pocket 20 | 通知
PR ラック西本氏が語るサイバー事件の傾向と、その対策とは？
PR 「ベスト・インシデント・リカバリー賞」受賞者に学ぶ勉強会
セキュリティ企業のパロアルトネットワークスは4月20日、国内の大手製造やハイテク企業を対象にした5つの標的型攻撃が行われたと発表した。国内企業への攻撃に特化した新たなマルウェアが使われていたという。
同社によると、攻撃は「DragonOK」と呼ばれる中国の攻撃者とみられる集団が1月から3月にかけて実行した。訃報を知らせるメールを企業に送り付け、WordやExcelファイルに見せかけた不正な添付ファイルを開かせる手口でマルウェアに感染させる。マルウェアは攻撃者の命令を受信してコンピュータの権限を奪い、ユーザーがキーボードなどで入力した情報や画面、ファイルなどのデータを盗み出す。


訃報
父 村上 修平
三月九日永眠致しました
謹んで皆様にお知らせ申し上げます
尚、葬儀は故人の希望により
近親者にて三月十三日に滞りなく相済ませました
生前中のご厚誼に深く感謝申し上げます

「訃報」通知に見せかけた不正な添付ファイル（パロアルトネットワークスより）



中身が"xxx"で埋め尽くされた不正ファイルも（同）

●2014年度のアダルトサイトの相談、10万件超える...国民生活センター

http://itpro.nikkeibp.co.jp/atcl/news/15/042401437/
http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20150423_1.html

このニュースをザックリ言うと・・・

- 4月23日（日本時間）、国民生活センターがアダルトサイトに関する相談が急増しているとして警告しています。

- 同センターおよび全国の消費生活センターに寄せられた2014年度の相談件数は106,279件で、過去最悪だった2011年度の95,650件を更新しています。

- このうち架空請求等によって実際に料金を支払ってしまったケースが3,802件、1件あたりの平均損害額も27万円と、これらも過去最悪となっています。


ニュース　日経NETWORK

絶対に払っちゃだめ！アダルトサイトの相談が1年間に10万件を突破

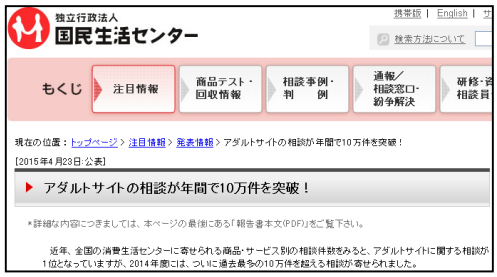
2015/04/24
勝村 幸博＝日経NETWORK（筆者執筆記事一覧）

記事一覧へ >>

26　13　3　14　23
おすすめ　共有　ブックマーク　Pocket　ツイート
シェア

国民生活センターは2015年4月23日、アダルトサイトに関する相談が急増しているとして注意を呼びかけた。2014年度中には10万件を超える相談が寄せられている。その多くは「有料サイトだという認識がなかったのに料金を請求された」といった、料金に関する相談。実際に被害が出ているケースも少なくないという。

近年、国民生活センターや全国の消費生活センターなどには、アダルトサイトに関する相談が多数寄せられていて、2014年度には過去最多の10万6279件に達したという（図1）。年齢別で見ると、60歳以上からの相談がおよそ2割を占めている（図2）。


独立行政法人 国民生活センター

携帯版 | English | サ
検索方法について

もくじ　注目情報　商品テスト・回収情報　相談事例・判例　通報／相談窓口・紛争解決　研修・資相談員

現在の位置：トップページ > 注目情報 > 発表情報 > アダルトサイトの相談が年間で10万件を突破！

[2015年4月23日:公表]

アダルトサイトの相談が年間で10万件を突破！

＊詳細な内容につきましては、本ページの最後にある「報告書本文(PDF)」をご覧下さい。

近年、全国の消費生活センターに寄せられる商品・サービス別の相談件数をみると、アダルトサイトに関する相談が1位となっていますが、2014年度には、ついに過去最多の10万件を超える相談が寄せられました。

AUS便りからの所感等

- 同センターも呼びかけていることですが、業者によっては金銭ではなく個人情報の収集を目的としている者もいるため、安易に連絡しないことが重要です。

- 会社のネットワークから不審なサイトにアクセスしてしまうことのないようリテラシー教育を行うことは大事ですが、それだけに頼ることなく、UTMによるアクセス制限等、技術的な防御も怠りなく行うことがより重要となるでしょう。

●「Java 7」「Windows Server 2003」の脆弱性は危険度も高い、ユーザーは速やかな移行を...IPAが呼び掛け

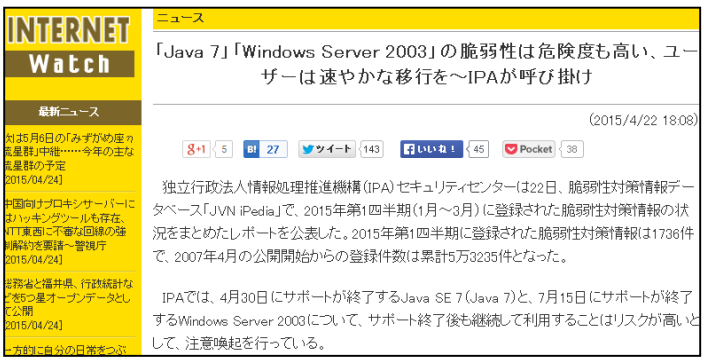
http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20150422_699098.html
http://www.ipa.go.jp/about/press/20150422_2.html

このニュースをザックリ言うと・・・

- 4月22日（日本時間）、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）より、同セキュリティセンターが運営する脆弱性対策情報データベースに今年1～3月に登録された脆弱性情報（この期間に登録された脆弱性は1736件）に関するレポートが発表されました。

- 4月30日にサポートが終了するJava SE 7（以下Java7）に関して、同期間に登録された88件の脆弱性のうち43.2%にあたる38件が最も深刻度の高い「危険」レベルに分類されています。

- 7月15日にサポートが終了するWindows Server 2003（以下Win2003）に至っては、49件中63.3%にのぼる31件が「危険」に分類されています。


INTERNET Watch

最新ニュース

ニュース

「Java 7」「Windows Server 2003」の脆弱性は危険度も高い、ユーザーは速やかな移行を～IPAが呼び掛け

(2015/4/22 18:08)

+1 5　B! 27　ツイート 143　いいね！ 45　Pocket 38

独立行政法人情報処理推進機構（IPA）セキュリティセンターは22日、脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」で、2015年第1四半期（1月～3月）に登録された脆弱性対策情報の状況をまとめたレポートを公表した。2015年第1四半期に登録された脆弱性対策情報は1736件で、2007年4月の公開開始からの登録件数は累計5万3235件となった。

IPAでは、4月30日にサポートが終了するJava SE 7（Java 7）と、7月15日にサポートが終了するWindows Server 2003について、サポート終了後も継続して利用することはリスクが高いとして、注意喚起を行っている。

AUS便りからの所感等

- 既にサポートが終了したWindows XPが根強く使い続けられているのと同様、Java7やWin2003も当分は一定の割合で利用され続けるとみられますが、その中でも最も危険なのは、セキュリティパッチがろくに適用されていない等、十分な管理がされていない状態であることです。

- 可能な限り、現時点でサポートが行われている新しいバージョンへのアップデートを行うこと、それができないなら少なくともセキュリティパッチが確実に適用されているかの確認、そして脆弱性を突く攻撃からのアンチウイルスやUTM等による防御が重要です。